



えひめ



Contents

現場だより

- ・東予港既設道路切替等工事に着手
- ・松山空港小型機エプロン改良工事に着手

愛媛のみなとオアシス特集

- ・みなとオアシス伯方
- ・みなとオアシス八幡浜みなと
- ・みなとオアシスうわじまきさいや広場

新居浜商工会議所建設部会主催勉強会に参加
松山河川国道事務所・大洲河川国道事務所
技術交流会を開催

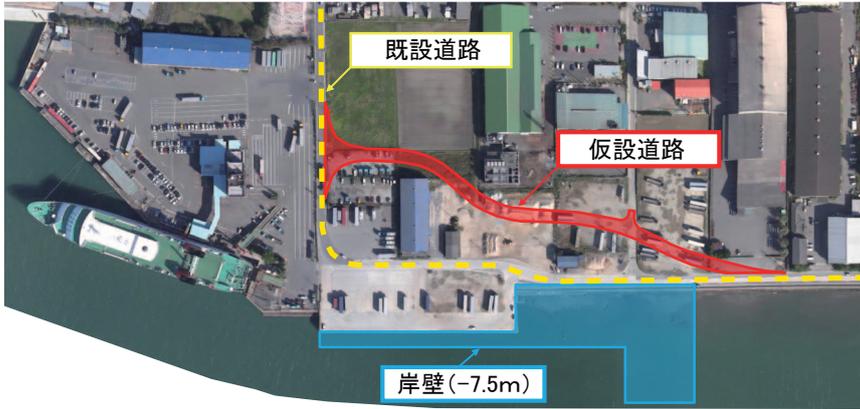
写真は、2016年3月に撮影した松山港外港地区の状況写真です。

今春で岸壁(-13m)のエプロン舗装工事が完了し、国際物流ターミナルの整備も着々と進んでいます。

東予港既設道路切替等工事に着手

現場だより

今後予想されるフェリー貨物の増大やフェリーの大型化に向け物流機能の効率化を図るとともに、大規模地震に備えた耐震機能の強化を目的として、平成27年度より複合一貫輸送ターミナルの工事に着手しています。



既設道路切替等工事場所

平成28年度より水深7.5m岸壁の整備にかかる既設構造物の撤去工事が始まりますが、その撤去工事に伴い既設道路が通行できなくなることから、岸壁工事用地への陸側からの進入路となる仮設道路を整備する必要があります。

平成28年3月から本格的な工事に着手し、排水路の設置、既設管渠（工業用水、上水道）の移設、道路のアスファルト舗装などの作業を進め、既設構造物の撤去工事に遅れが生じないように仮設道路の整備を着実に進めています。



工事場所全景



道路整備状況



排水路設置状況

松山空港小型機エプロンの改良工事に着手

松山空港のローディングエプロン（旅客乗降用エプロン）の西側に位置する小型機エプロンは、滑走路2,000m時代の旧ローディングエプロンとして運用されていたものであり、現在の滑走路2,500mへの拡張後は、愛媛県警、航空会社等の小型機専用エプロンとして運用されています。

当該エプロンは、滑走路2,000m時代の昭和54年に改良工事が実施されて以来、大幅な改良が実施されておらず、近年では舗装の劣化が確認されていたことから、本年2月よりアスファルト舗装の打ち換え工事に着手しました。

現地施工では空港の運用に支障がないように大半の作業を夜間に行っています。

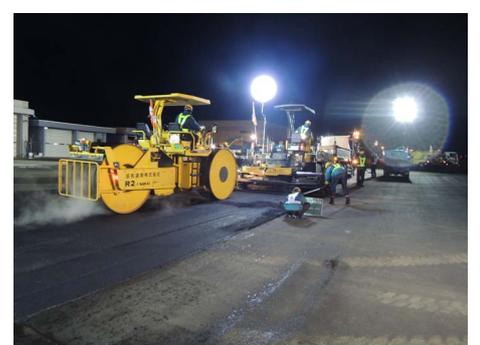
小型機エプロン改良範囲



路面切削状況



敷均し状況



締固め状況

愛媛のみなとオアシス特集

みなとオアシスとは、海浜・旅客ターミナル・広場など、みなとの施設やスペースを活用して住民参加型の継続的な地域振興に係わる取り組みが行われる、地域交流拠点施設及び地区のことで、愛媛県内には3つのみなとオアシスが登録されています。いずれも、地域色豊かなイベントを開催したり、ご当地グルメを開発したりと、地元の方々が様々な工夫をこらし魅力ある空間を創出していますので、簡単にご紹介します。

みなとオアシス伯方 (平成16年8月みなとオアシス登録)

「みなとオアシス伯方」には、休憩所やレストラン、お土産売り場を備えた「マリンオアシスはかた」の他、海水浴場「伯方ビーチ」もあり、特に夏のレジャーシーズンには多くの観光客が訪れています。全国的にも有名な“伯方の塩”を使用したラーメンやソフトクリームも販売されており、伯方の塩を堪能することができます。また、島の主要イベントの際にはフリーマーケット「はまぼう市」を企画・出展、郷土料理コーナーや釣りイベントを催すなど、季節に応じたにぎわい創出活動を行っています。



マリンオアシスはかた
(物販・飲食施設)

伯方ビーチ
(海水浴場)



行ってみよ~!!

みなとオアシスうわじまきさいや広場 (平成21年3月みなとオアシス登録)



真珠館・牛鬼館
(歴史文化保存
伝承施設)

多目的広場

農産物・水産物売場

郷土料理
食のひろば
(飲食施設)

「うわじまきさいや広場」には、新鮮な農産物や海産物が並ぶ直売所、地元食材を使用した「食のひろば」があり、宇和島の郷土料理である宇和島鯛めしや宇和島さつま汁を食べることができます。その他にも、宇和島の特産品である高品質な真珠の直売所「真珠館」や伝統文化である牛鬼(うしおに)を展示した「牛鬼館」など、宇和島ならではの施設もあります。また、多目的広場では「おいでな~せ~市」や「宇和島ハワイアンフェスティバル」といった、地域の方々による活発なイベントも開催されています。



みなとを舞台に
地域を豊かに
演出します

みなとオアシス八幡浜みなと (平成17年8月みなとオアシス登録)



どーや市場
(海産物直売所)

アゴラマルシェ
(物販・飲食施設)

沖新田
緑地公園

みなと交流館
(観光案内所、
ホール、会議室)

「八幡浜みなと」には、情報発信施設である「みなと交流館」を中心に、新鮮な魚介類を販売する「どーや市場」、地域の素材を活かした産直・物販・飲食施設を有する「アゴラマルシェ」があります。新鮮な海鮮料理の他、名物の「八幡浜ちゃんぽん」、海の幸を使った八幡浜港発の「港弁(みなとべん)」、平成25年 第3回みなとオアシスSea級グルメ全国大会で優勝した「じゃこカツ」も味わうことができます。また緑地公園では、「みなと日曜市」、「ワールドちゃんぽんクラシック」など、魅力あるイベントが開催されています。

新居浜商工会議所建設部会主催勉強会に参加



2月23日(火)、新居浜市の新居浜商工会館にて、新居浜商工会議所建設部会主催による勉強会が開催されました。

「当市の産業振興及び防災・減災に効果的な道路、河川、港湾等のインフラ整備や老朽化対策について」というテーマで、講演及び意見交換が行われました。当日は新居浜市議会議員、新居浜商工会議所建設部会各企業、愛媛県、新居浜市など、63名の参加者による開催となりました。

勉強会では、松山河川国道事務所の横尾所長と、当事務所の平野所長が講演を行いました。横尾所長は「新居浜のまちづくり・みちづくり」として、管内の道路事業の概要や災害、老朽化対策、入札制度改革について講演されました。平野所長は「最近の港湾行政の動向」として、四国の港湾における特徴や港湾行政の動向、新居浜港の動向について講演しました。

その後の意見交換の際には、参加者の方から、建設業界の課題となっている若手労働者の確保へ向けた取り組み方策や南海トラフ巨大地震に関する地元の影響、インフラ整備に関する質問など、積極的な意見交換が行われました。

今後は、今回の勉強会が新居浜市におけるまちづくり等に活かされていくことが期待されます。



勉強会会場全景



横尾所長による講演



平野所長による講演

松山河川国道事務所・大洲河川国道事務所 技術交流会を開催

2月26日(金)、松山河川国道事務所及び大洲河川国道事務所の職員を対象とした技術交流会を開催しました。

この交流会は、愛媛県管内の「河川」や「道路」を担当する事務所と「港湾」や「空港」を担当する事務所が普段触れることの少ないお互いの現場を体験、交流することで、お互いの事業内容、目的を把握し、相互の技術力の向上を図ることを目的として開催しました。今回は、当事務所の現場である松山港外港地区国際物流ターミナルと松山空港の現場にて意見交換を行い、当事務所の事業内容や港湾・空港の役割等について知見を広めていただきました。

次回は、河川・道路の現場に場所を移し、事業実施にかかる意見交換会等を開催することで更なる技術力の向上を図るとともに、事務所同士のつながりを密にしながらか切琢磨して愛媛県管内での国土交通行政の推進に寄与していきたいと考えています。



事業等概要説明



松山港の現地説明



松山空港の現地説明

< 事務所のご案内 >



■松山港湾・空港整備事務所
〒791-8058 松山市海岸通2426-1
【TEL】089-951-0161(代表)
【FAX】089-946-8010



■東予港出張所
〒799-1353 西条市三津屋南2-15
【TEL】0898-64-3650(代表)
【FAX】0898-65-5187

Coastline えひめ No.29 編集・発行



国土交通省四国地方整備局
松山港湾・空港整備事務所

【e-mail (企画調整課)】pa.skr-mtjm-i88s3@mlit.go.jp
【URL】http://www.pa.skr.mlit.go.jp/matsuyama/index.html
【海とみなとの相談窓口】0120-497-370(全国共通フリーダイヤル)
受付時間 9:30~12:00、13:00~17:00(土・日・祝祭日・年末年始を除く)